



Re make

~津別の未来を創る~

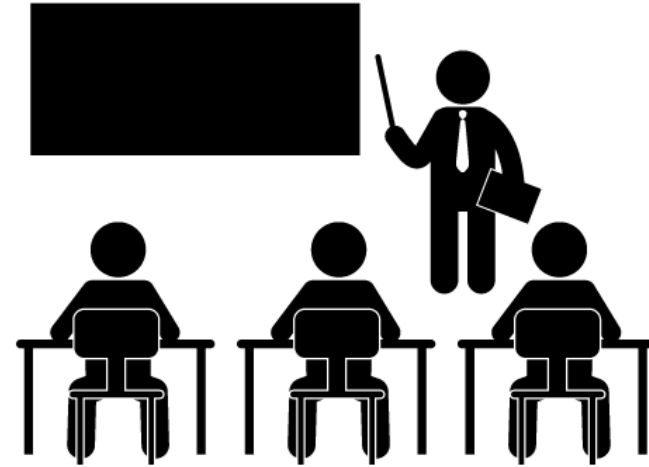
北星学園大学 野原ゼミナール

目次

- I 目的 & 現状分析
- II 森林体験プログラム
- III 空き家の再利用
- IV 期待される効果
- V まとめ

はじめに

ゼミでの活動



社会への還元

津別の地方創生

I 目的 & 現状分析

- ▶ 津別の持続可能性の発展を図る。
- ▶ 持続可能性の発展を高めるために、

森林体験プログラム、エコハウスの建設を紹介していく。

持続可能で
循環する社会へ！！

環境

経済

人

現状分析

1. 林業主体の産業構成

津別町の森林面積は**86%**を占める



林業が衰退してきた

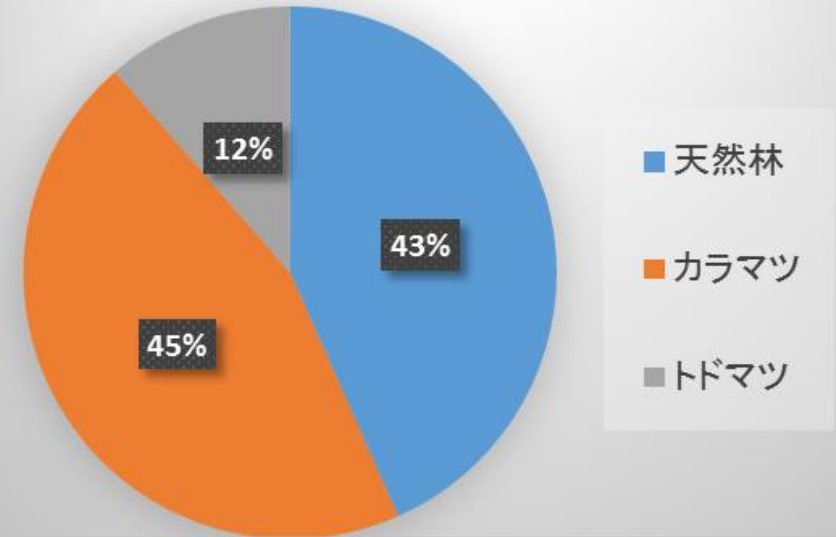
2. 空き家事情

津別町空き家等情報登録制度

町内の空き家等を有効利用、地域活性化を図る制度なのだが...

登録件数は**2件!**

津別町における町有林の割合



II 森林体験プログラム

▶ 森林体験プログラムの概要

☞ **メディカルツーリズム**と、**エコツーリズム**の二つを軸に進める

メディカルツーリズム

サナトリウム

農福連携

介護・看護師の実習

エコツーリズム

体験型ツアー

様々なアクティビティ

環境関連施設の見学

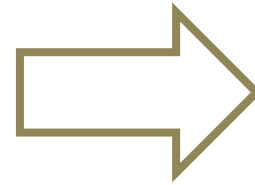
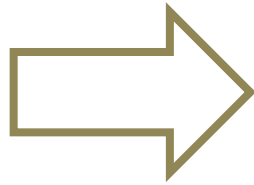
Ⅱ 森林体験プログラム

▶ **メディカルツーリズム(医療観光)**

☞ **サナトリウム**として長期的な滞在の場を提供する。

▶ **農福連携**

☞ 知的・精神障がい者を対象に、雇用の創出を図る。



▶ **介護・看護実習の場を提供する**

☞ 北見や釧路などの近隣都市から、メディカルツーリズムのサポーターとして募集する。

II 森林体験プログラム

▶ エコツーリズム

☞ 観光を通じて環境教育の場を提供する。



体験型ツアー

- 地元の企業と連携して、ウッドクラフト体験を実施。



様々なアクティビティ

- トドマツを用いた、アロマセラピー用のエッセンシャルオイルの作製。
- 下川町と提携して、ノウハウを培う。



環境関連施設の見学

- 「津別町バイオマスタウン構想」によって将来的に作られるバイオマス施設の見学。

Ⅱ 森林体験プログラム

様々なアクティビティ



ムーンナイト・ウォーク

森の中を探索して、津別の自然を堪能してもらう。



足湯

リラクゼーションの場とコミュニティーの場を形成。



いかだ作り

津別の木を用いていかだを作成し、川下り体験をする。

Ⅱ 森林体験プログラム

▶ クラウドファンディングで津別PRを！！

※クラウドファンディング

☞ インターネットを用いて、第三者から資金を調達する手法。

①：寄付型 ②：購入型 ③：投資型

●
パンフレット作り

●
津別の特産品
や旅券を謝礼
として渡す

●
津別の広報
& コストカット
を両立させる

Ⅲ 空き家の再利用

▶ エコハウス

☞ 空き家を改築し、クリーンなエコハウスを建設。

エコツーリズム : 販売場所、滞在施設、レストラン&BAR

メディカルツーリズム : 保養・滞在施設、レストラン



エコハウスに利用する再生エネ

① : 太陽光発電

☞ 豊富な日射量を活用する。

② : 地中熱利用

☞ ヒートポンプを利用する。

夏はクーラーに

冬は暖房に利用する。

期待される効果

▶ 森林体験プログラムを通して期待される効果



- ① : 体験学習を通じ、津別町の自然を提供することにより、**広報する機会**を作る。
- ② : メディカルツーリズムを通じた活動人数の増加が、**町の活性化**につながる。

まとめ



医療、教育という2つの側面からなる森林体験プログラムにより、雇用を増やし、農業従事者の高齢化に伴う後継者問題にもアプローチする。さらに空き家をエコハウスとして再利用することで、需要を創出するとともに、環境にやさしい町としてのイメージ定着を狙う。